

## 研究講習事業報告

学発番号: 23-036  
事業名: チーム医療研究班 第3回R-CPC(症例検討会)  
日時: 令和5年12月20日(水)18:30~20:00  
場所: 京都保健衛生専門学校(ハイブリッド開催)  
主題1: R-CPC 検査結果から見えるもの~上級編~  
症例提示者 横山 健輔 技師(京都桂病院)  
パネリスト① 市川 淳也 技師(京都岡本記念病院)  
パネリスト② 坂本 竜也 技師(京都市立病院)  
参加数: 総数:50名(京臨技会員:41名)  
報告者: 齊藤 祐巳子(京都大学医学部附属病院)

### 以下、講演内容など

今年度の第3回目は上級編として、検体検査結果を中心に一部心電図データも提示し、2名の若手技師をパネリストとしてディスカッション形式で開催しました。今回は初の試みとして、一部の症例は事前配布せず初見で読み解く形式で行いました。直感的に病名を当ててるのではなく一つ一つの検査データを丁寧に読み解いていくことで、点と点が繋がっていくことが実感できました。またどうしてもデータに矛盾が生じる場合は薬剤の影響も考える必要があることを学びました。大変有意義な研修会となりました。